

# 心齋橋駅(地下鉄御堂筋線・長堀鶴見緑地線)④ 手塚も通った科学館と阿弥陀池伝説

四ツ橋駅(地下鉄四ツ橋線) 西長堀駅(地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線)  
西大橋駅(地下鉄長堀鶴見緑地線)

「大阪あそ歩マップ集」  
その2 No.067



## 地下鉄心齋橋駅

### ①四ツ橋

江戸時代の四ツ橋は『摂津名所図会大成』によると「此地の名物として烟管店軒をならべ、種々様々の形せし品ありて、買手の望みに任す」とあり、「四ツ橋煙管」が名産だったといえます。また昭和12年(1937)には、四ツ橋北西角に東洋初のプラネタリウムが置かれた大阪市立電気科学館が誕生しましたが、そこに足繁く通ったのが少年時代の手塚治虫で、のちに『鉄腕アトム』などのSF漫画の誕生に大きな影響を与えました。



### ②間長涯天文観測の地

間長涯(1756~1816)は暦学者・天文学者です。寛政9年(1797)に寛政暦を完成し、幕府から直参取り立ての話が出ましたが、辞退しました。英国製の観測器具を研究して富田屋橋で天体観

測に従事し、長涯が橋中で観測を始めると町民が通行を止めたといえます。卓越した観測技術は弟子の伊能忠敬に伝えられ、日本地図作成に大いに役立ちました。

### ③大阪木材市売市場発祥の地

元和8年(1622)ころ、土佐藩の申請で材木市が立売堀川で始まり、土佐藩が蔵屋敷を白髪町に構えると、西長堀川でも材木市が許可されて土佐、日向、紀州、阿波、尾張など諸国の材木が集まりました。西長堀川は埋め立てられましたが、いまでも堀江界隈を丹念に探索すると材木商の看板などが点在しています。

### ④白髪橋

元和8年(1622)から明暦元年(1655)の間に架設されたと考えられています。橋名の由来は新羅船がここに着岸して、後世、それが訛って白髪町・白髪橋となった説(『摂津名所図会大成』)や、土佐藩が自国の白髪山から木材を伐出して、当地に材木市場を設けたのが由来とする説(『西区史』)があります。

### ⑤和光寺・阿弥陀池

古代に廃仏派の物部氏が阿弥陀

如来を池に捨て、それを信濃の住人・本田善光が拾って長野の善光寺に祀った…という阿弥陀池の伝説で有名です。かつては講釈、寄席、浄瑠璃、軽業、見世物などが並び、2月の涅槃会や4月の仏生会の植木市は、こと賑やかであったといえます。



### ⑥あみだ池大黒

文化2年(1805)創業。長堀川は蔵屋敷が建ち並び、年貢米を運んできた船が数多く停泊していましたが、あみだ池大黒の初代・小林林之助は、船底にたまる余剰米を寄せ集めて、おこしの原料にすることを思いつき、これが大ヒット。日露戦争時には明治天皇より戦地への慰問品として送られる恩賜の菓子に選ばれました。全国各地の大黒さまを約3500体集めた蔵があることでも有名です。

## 地下鉄西長堀駅

